



取り扱い注意事項

よくお読みになり、正しくお使いください

- AC100V ラインコンセント及びスイッチング電源 (LU-SWC) の設置については有資格者による施工が義務付けられていますので、専門業者にご依頼ください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。
- スwitching電源 (LU-SWC) の接続ケーブルには入力 (AC) と出力 (DC) があり、誤った接続をすると火災・故障の原因となります。付属の取扱説明書を必ずお読みいただき、正しく接続してください。また、スイッチング電源は発熱しますので、密閉された場所には設置しないでください。設置の際は通気口や十分なスペースを設けるなど放熱性を十分に考慮して取り付けしてください。故障の原因となります。
- 使用環境や使用条件を守り、適正なご使用をお願い致します。誤ってご使用されますと、故障や事故及び火災等の原因になります。また、半年に一回程度、電源を切った状態で点検及び清掃を行なってください。
- 照明器具への入力電圧は DC24V です。当社指定の各種電源以外は使用しないでください。間違った電源を接続すると、灯具が壊れる可能性があります。
- 粉塵やホコリの多い場所でのご使用は避けてください。蓄積された粉塵やホコリで熱が逃げず、LED の寿命が著しく低下すると同時に破損・故障する可能性があります。
- 密閉された箱の中でのご使用、木製品や樹脂製品への取り付け時は、事前に発熱状況をご確認ください。発熱量が多いと LED の寿命が著しく低下する可能性があります。放熱し、空気が循環するようにご配慮ください。
- 灯具本体及びアダプタは発熱しますので、アダプタは取り付け間隔を空け、密閉された空間で使用しないでください。また、あらかじめ陳列商品などへの熱の影響をご確認の上、ご使用ください。
- 灯具本体に異常が認められた場合には、直ちにご使用を中止してください。損傷を受けたり、故障した灯具本体を使い続けると、重大な事故の原因になります。
- 電源への接続は指定されたコネクタをお願い致します。指定以外のコネクタを使用すると、破損・故障する可能性があります。
- DC24V 用の電源コード (LU-PWC-24V) をご使用の際には、必ず 2 ピン用の DC24V ラインコンセント (LU-ZLC) をご使用ください。間違えて 3 ピン用の AC100V ラインコンセント (LU-LCF など) にご使用になりますと灯具本体の破損はもちろん、重大な事故や火災などの原因になりますので絶対に避けてください。
- アダプタ及びコネクタは確実に接続してください。間違った接続をしたり、接続状態が不完全な場合、接続不良によりショートする可能性があります。
- コネクタの抜き差しは、必ずコネクタ本体を握って行ってください。コード部を引っ張ると、破損・故障する可能性があります。
- 濡れた手でアダプタやコネクタを抜き差ししないでください。感電する恐れがあります。
- 灯具本体の改造や加工はしないでください。故障の原因になります。
- カバーをはずし、直接 LED に手を触れないようお願い致します。LED が静電破壊を起こし不点灯になったり汚れが付着して照度が落ち、破損・故障する可能性があります。
- LED の光を直視しないでください。直視すると一時的に LED の光が残像として見える可能性があります。直視してしまった場合は、LED の光から目線をそらし、通常的环境で目を慣らすようお願い致します。
- 本製品はすべて屋内専用 (非防水仕様) です。屋外や水・湿気が多い場所や結露の発生する状況下でのご使用はできません。
- 振動・衝撃・粉塵・腐食性ガスの影響を受ける場所では使用できません。
- LED の発光色には個体差があり、若干の色ムラが出る事がありますのでご了承ください。選別された LED を使用しておりますが、発光色にはバラツキがあります。
- 灯具本体にハンガーを掛けないでください。破損にともなう漏電の恐れがあります。
- 灯具本体及び電源アダプタからは若干のノイズが発生しております。通常的环境では問題ありませんが医療機器などノイズに敏感な機器が設置された環境ではご使用にならないでください。
- 灯具の取り付けまたは配線の際、金属部分より静電破壊が起こる可能性がある為、静電気対策をお願いします。
- LED は紫外線をほとんど含まないため退色しないものと思われがちですが、可視光により被照射物の一部の染料に退色や変色が発生することがあります。
- 充電式バッテリーの充電は当社指定の充電器 (同梱品) をご使用ください。
- 充電式バッテリーは電池リサイクル法により勝手に処分できません。
- 充電式バッテリーを長時間使用しない場合でも過放電を避けるため、約三ヶ月に一度満充電させてください。(過放電になると電解液が溶出し、発熱・発火の恐れがあります)
- 充電式バッテリーは、点灯などの使用中に充電すること、または充電中に点灯などの使用をすると劣化しますのでお避けください。